

# 裏磐梯だよい



No.55  
2012年7月



磐梯朝日国立公園  
裏磐梯ビジターセンター

## 季節の一枚 ⑳

「休暇村探勝路の湿原と磐梯山」

今年の梅雨は、しとしと雨が毎日続くといった梅雨らしさがあまり感じられません。逆にからっと爽やかに晴れる日が多く、雨が降ったときにはザーッと強い雨が降る、そのような印象を受けます。

この日は、今年の梅雨を象徴するような爽やかな青空が広がっていました。ゴールデンウィークの頃には部分的に雪が残っていた湿原周辺も、わずか2ヶ月ほどで見違えるほど緑が青く生い茂り、綺麗な瑠璃色をしたイトトンボがヨシやススキの葉にとまって休んでいたり、モリアオガエルが「コココッ」と雨を待ち望むかのように鳴いたりしていました。

さあ、梅雨が明けたら短い裏磐梯の夏も本番！  
今年はどうような夏になるのでしょうか？

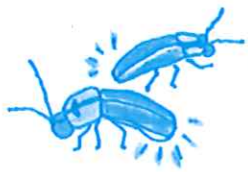
(撮影日 2012年7月4日)

年 月 日  
来館記念スタンプをどうぞ



## ■ ホタル舞う裏磐梯の夜 ■

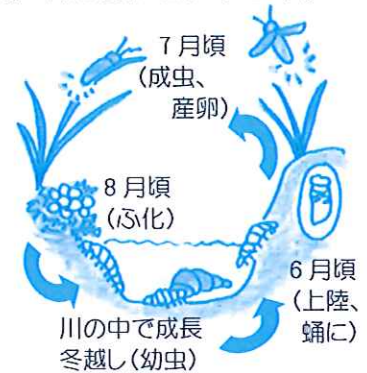
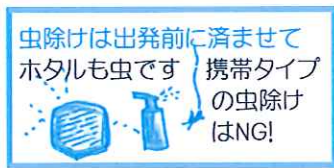
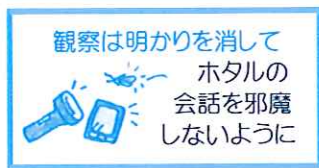
今年の梅雨は激しい雨の日が目立った裏磐梯。7月も中旬に入り、夜の空気はすっかり夏らしくなりました。そんななか、レンゲ沼周辺などでは少し遅れ気味ですが今年もホタルが飛び始めました。



「ホタルはきれいな水がなければ棲めない」というイメージは多くの方が持っていると思いますが、このほかにも大切な条件があることはあまり知られていないかもしれません。裏磐梯では成長に必要な条件が揃っているのでホタルを見ることができのです。その成長の過程を追ってみましょう。

夏、ホタルは水辺のコケに卵を産みます。30日ほどして卵からかえった幼虫はコケを伝って水の中に入り、翌年の春までカワニナという巻貝を食べて脱皮を繰り返しながら成長します。そして春、幼虫はひそかに川辺に上陸し、自力で土にもぐって蛹(さなぎ)になります。実は、ここで重要なのが柔らかく湿った川辺の地面です。もし、コンクリートによる護岸や人の踏み込みによって地面が固められてしまっていると、潜れる場所がないためその成長は絶たれてしまいます。こうして土の中で50日ほどかけて成虫になると、いよいよ地上へ出てきます。地上に出てきたホタルは、数日~2週間ほどの短い期間で相手を見つけ、次の世代となる卵を生まなければなりません。このペア探しのためのコミュニケーション手段が、夏の夜に私たちが目にするホタルの光であることはご存知のとおりです。

裏磐梯の水辺で一年かけて無事に成虫になったホタルたちが光り、卵を産んで命をつなぐ夏。儂い光はその命が毎年つながれてきた証拠であり、また来年へとつながれていくためのものです。このホタルの営みがずっと続くよう、ホタルとその成長に必要な環境に気を配りながら見守っていきましょう。



## ■ 裏磐梯のはてな？ ■

来館者のみなさんによく聞かれる「？」にお答えします

「たくさん咲いている黄色い花は何？」

裏磐梯への道中、あちこちで見えてきたのですが...



裏磐梯では四季を通して様々な花が咲き、私たちの目を楽しませてくれます。その中でも 8 月頃になるとあちらこちらに力強い黄色い花を咲かせる植物があります。それがオオハongoソウです。

『外来種』という言葉はご存知でしょうか？もともと生きていた場所とは違う場所に運びこまれてしまった生き物の事を外来種と呼び、オオハongoソウは、北アメリカ原産の外来種なのです。外来種は、時としてその土地の生き物より繁殖力が強く、本来その土地にいたはずの種を絶滅に追い込んでしまう事も起こります。そのため、現在ではこうした外来種を駆除するなど、その土地の生き物に悪影響がないようにするための対策が取られています。

特にオオハongoソウのように大きな影響を及ぼしてしまう生き物は、外来生物法で『特定外来生物』に指定されていて、「栽培・運搬・野外に放つ事の禁止」などいくつかの規制があり、違反した場合は懲役や罰金が課せられることもあります。植物に限らず、ウチダザリガニやブラックバスなどいくつかの生き物がこの外来生物法の対象になっています。

しかし、これらの生き物は何も悪い事をしていません。ペットや観賞用、また、食用等の目的で人の手によって持ち込まれた生き物たちが、人の手によって駆除される。なんともおかしい話です。改めて、生き物たちのとの付き合い方を見つめ直してみるのも必要なのかもしれません。





「身近にあるタネを育ててみよう！」

公園や庭、食卓にあがる野菜や果物など、身の回りにはたくさんの植物のタネがあります。そして、小学校の時の「アサガオ観察」をはじめ、多くの方が一度は植物をタネから育てたことがあるのではないのでしょうか。今考えるとタネから芽がでることは当たり前のように思いますが、育てて観察してみると初めて知ったことや驚きがあったと思います。花や収穫を楽しみに育てるのもいいですし、何のタネか分からないものを拾って育ててみるといつかわかる時がくるかもしれません。苗から育てるよりもきっと愛情も深くなり、面白いはずですよ。



牛乳パック、卵パック、ペットボトル…身近な容器で気軽にスタート！ スイカのタネを100個まいて…



ちなみに私は、ミズバショウのタネを見つけたのをきっかけに育てています。昨年の夏に芽をだし、現在は2cm程の小さな葉を広げています。花を咲かせるまで5年ほどかかるとのことですが、小さい頃から同じ姿をしていることを知りました。

タネから育ててみることで、植物の発見と不思議に出会えるでしょう。この機会にタネから植物を育ててみませんか？



日本の国立公園

国立公園で動く方にその国立公園の魅力を訊きます



国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在30の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園です。

おせ  
「尾瀬国立公園」平成19年8月30日指定、陸域面積37,200ha、福島県、群馬県、新潟県、栃木県



尾瀬沼に映る「逆さ燧」

尾瀬沼ビジターセンター（(財)尾瀬保護財団）島野卓生さんよりご紹介いただきます。

「尾瀬」から連想されるイメージは何でしょう？ミズバショウ・ニッコウキスゲ、あるいは湿原でしょうか。尾瀬は正にお花の宝庫、雪融けから草紅葉の時期までたくさんの花が咲き誇り、お客様や私たちを楽しませてくれます。毎日眺めても飽きることのないたくさんの花には圧倒的な魅力があります。

そんな尾瀬に、ひとつ新しいイメージを付け加えていただきましょう。それは、「尾瀬は山です」ということ。2,000m級の山々に囲まれた盆地地形の尾瀬に行くには、険しい山道ではありませんが、登りか下りの山道を歩きますから、山登りの準備をしてお出かけ下さいね。

さて、東北以北最高峰の燧ヶ岳(2,356m)から本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原を見下ろすと福島県、群馬県、新潟県3つの県境が見えることをご存じでしたか？湿原を縫って流れる川を抛水林が覆い、緑の帯状に見えるので県境がはっきりと確認できるのです。国立公園では尾瀬だけかもしれませんから、貴重な眺めと言えるでしょう。



燧ヶ岳から見る尾瀬ヶ原

ご覧いただきたいと言え、今季、企画展示に力を注いでいる尾瀬沼ビジターセンターです。尾瀬沼と燧ヶ岳を眺める絶好地でもありますので、どうぞお出かけ下さい。

あっ、尾瀬を「楽しむ・守る」気持ちお忘れなくね！

◆(財)尾瀬保護財団ウェブサイト <http://www.oze-fnd.or.jp/>



# ようこそ！ビジターセンターへ

## スライドトークを開催しました

6月からスライドトークを開催しています。テーマは「五色沼の秘密」。これまでにおよそ150の方にご覧いただきました。クイズとプチ実験、裏磐梯の動物たちの紹介なども交えた内容は小さなお子さんにも楽しんでいただいています。夏休み期間には、「五色沼の秘密編」「磐梯山のお話編」「うらばんだいの自然編」を週に2回ほど開催しますので、来館の際はぜひご覧ください。散策の前後に見ていただくと裏磐梯の自然をより楽しめると思っています。



# 裏磐梯ビジターセンターの見どころを紹介します

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催 講演会

## 「身近にいる昆虫の不思議、身近にはいない昆虫の不思議」

参加無料

8月11日(土)  
午後 1:30~3:00



会場 / 裏磐梯ビジターセンター  
定員 / 30名程度  
講師 / 福島大学 塘 忠顕 先生  
申込方法 / 事前にお電話にてお申込み下さい  
昆虫は私たちにとって最も身近な生物の一つ。生きている虫や標本を目で見たり顕微鏡で観察したりしながら、知られざる虫たちの不思議の話を聞きます。  
※詳細は7月下旬にウェブサイトに掲載します

## お知らせ

7月28日~8月31日は  
毎日イベントを開催しています！

※ウェブサイトからも開催内容やイベントカレンダーをご覧いただけます



自由研究のヒントがいっぱい！

裏磐梯で楽しく遊んで宿題もやっちゃおう！



月	10:00~③ / 2:00~⑤	① わくわく散歩 ・参加費 500円(未就学児無料) ・所要時間 80分・定員 8名 ◆ 毘沙門沼周辺を散策します。磐梯山の噴火や五色沼の色の秘密、今日の見どころはパッチリ！ ※外歩きに適した服装でご参加下さい	外で	② 森のビンゴゲーム ・参加費 200円 ・所要時間 40分・定員 8名 ◆ ビジターセンターのまわりでビンゴゲームをして遊びます。自然の中から「!」や「?」を見つける達人になれる！ ※外歩きに適した服装でご参加下さい	外で
火	2:00~②		③ スライドトーク ・参加無料 ・所要時間 20分・定員 40名 ◆ スライドを使って裏磐梯の自然を紹介します。五色沼の秘密や磐梯山の話、裏磐梯に棲んでいる動物などなど。どのテーマになるかは当日のおたのしみ！		お話
水	10:00~④ / 2:00~⑥	⑤ 空飛ぶタネをつくろう ・参加費 200円 ・所要時間 40分・定員 8名 ◆ 空飛ぶタネの模型を作ります。出来上がったら、飛ばして遊んで実験します。空を飛んで旅をするタネのふしぎを見てみよう！	工作	⑥ タンポポの花をつくろう ・参加費 200円 ・所要時間 40分・定員 8名 ◆ タンポポの花の模型を作って遊びます。タンポポの花はどんな形をしているのかな？めしべやおしべなど花のつくりを知って、花調べをしてみよう！	工作
木	10:00~② / 2:00~④				
金	2:00~③				
土	10:00~⑤ / 2:00~①				
日	10:00~① / 2:00~⑥				

## 磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

入館無料

開館時間

◆ 夏季(4月~11月) 午前9:00~午後5:00

◇ 冬季(12月~3月) 午前9:00~午後4:00

休館日 火曜日、年末年始(火曜祝日の場合は開館し、翌日休館)

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093

TEL 0241-32-2850 / FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>

ビジターセンターの窓から…クロサンショウウオの子供達が着々と大きくなっています。と思ったらカエルの子供も混ざってました(わし) / 夜空に星がいっぱい。夏の流れ星、一つ目ゲット！(こん) / 私に気付かず餌を夢中で探しているアナグマと遭遇。目が合った瞬間、何ともシュールな時間が流れました(たか) / 初めてオコジョに会いました。小さくてかわいくて見とれてしまいました(ひろ)

夏休みは  
(7/16~8/31)  
毎日開館！